

会 議 録	
会 議 名	令和3年度 第1回 丸亀市未来を築く地域戦略会議
開催日時	令和3年8月19日（木）14：00～15：35
開催場所	オンライン（Webex）
出席者	<p>出席委員 原 真志、漆原 光徳、中村 優、久富 啓至、東原 隆啓、佐藤 国夫 相原 しのぶ、佐久間 知恵、西川 真智子、三谷 幸代、高木 明美、 岩崎 正朔、塩田 覚、伊藤 智也、原 彩乃、岡崎 英幸</p> <p>欠席委員 高木 和代、香川 佐知子、大久保 翔太、宮本 龍河</p> <p>事務局 市長公室長 山地 幸夫 (秘書政策課) 課長 窪田 徹也、副課長 谷本 智子 政策推進担当長 宇野 大志郎、主任 大川 智 総務部 (財政課) 課長 宮西 浩二、副課長 藤田 朝子</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について 2. 第2期丸亀市未来を築く総合戦略アクションプランの進行管理について 3. その他
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	<p>ただ今より、令和3年度第1回丸亀市未来を築く地域戦略会議を開会いたします。本日は大変お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。</p> <p>また、本日の会議は、8月に入ってから新型コロナウイルス感染症の感染急拡大に伴い、急きょオンラインでの開催に変更させていただきました。委員の皆さまにはご対応いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>それでは議事に入る前に、資料の確認をいたします。事前にお送りした資料が「次第」、「資料①：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用実績」、「資料②：第2期丸亀市未来を築く総合戦略」、「資料③：第2期丸亀市未来を築く総合戦略アクションプラン」の3点となります。</p> <p>なお、資料③については、一部未定稿の状態でお送りしておりましたことから、後ほど修正のお願いをすることとなります。修正箇所につきましては、担当の説明の中でお知らせしますのでご対応よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、ここからの議事の進行につきましては、丸亀市附属機関設置条例第7条の規定により、原会長にお願いしたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p>
原会長	<p>本日の会議は、新型コロナウイルス感染症の感染状況が悪化している関係で、対面での開催がかなわず残念ですが、オンラインで進めさせていただきます。</p>

	<p>本日の会議ですが、委員総数が 20 名中、16 名の出席であり、過半数を満たしておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定により会議は有効に成立しておりますことを、ご報告をさせていただきます。</p> <p>本日の議事は、</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について (2) 第 2 期丸亀市未来を築く総合戦略アクションプランの進行管理について (3) その他 <p>の 3 件であります。まず、「(1) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について」、事務局より説明をお願いします。</p>
宮西課長	(資料に基づき説明)
原会長	ただいまの事務局の説明に関しまして、ご意見、ご質問などがありましたらお願いします。
高木委員	リモート授業について、小中学校でどのように実施されていますか。
宮西課長	現状、リモート授業は実施しておりません。今後の対応になってくると思います。
原会長	教育情報化推進費について、丸亀市内すべての公立小中学校でタブレット端末が整備されたということでしょうか。
宮西課長	公立小中学校の全ての児童・生徒が対象となっております。
相原委員	新型コロナウイルス関連事業所支援事業で、補助金や給付金を利用した事業所の事業継続率など、目に見えた効果などがあれば教えてください。
宮西課長	<p>新型コロナウイルス関連事業所支援事業につきましては、効果検証をするために、担当課の産業観光課が商工会議所などを通して事業者向けのアンケートを実施いたしました。アンケート結果によると、90%を超える事業所が本事業に効果があったとの回答をいただいております。</p> <p>他の 2 事業については、アンケートなどの効果検証の実施に至っておりませんので、事業が適切であったかなどを委員の皆さまにご審議いただき、いただいたご意見をホームページなどで紹介させていただければと考えております。</p> <p>そこで総合的な評価をお伺いしたいのですが、ご説明した 3 つの事業について、一定の効果があつたとお考えの委員は挙手をお願いします。</p> <p>(委員 15 人中 12 人挙手) ※会長は採決に加わらず。</p>

宮西課長	ありがとうございます。
東原委員	飲食店などの事業所に対する補助金額の満足度について、様々なご意見を報道などで耳にします。新型コロナウイルス関連事業所支援事業の補助金や給付金を受けられた丸亀市の事業所が、この補助金額で満足しているかアンケートなどで現状が分かれば教えていただきたいです。
山地公室長	丸亀市の補助制度は、基本的に国・県の補助制度で不足する部分を上乘せする方向で進めてまいりましたが、事業所の中には、売上げがかなり減少しているところもあると聞き及んでいます。現在、市独自の持続化給付金を実施しておりますが、今後も継続した事業所支援について検討してまいりたいと思っております。
原会長	<p>事業規模によって補助金額の満足度にも違いが出てくるのではとご意見をいただきましたが、報道で取り上げられているのは、東京などの大都市圏の事例が多いと認識しています。大都市圏と丸亀市において、必要な補助金額が違って来るかもしれませんので、地域における満足度の違いが分かれば、フィードバックしていただきたいと思えます。</p> <p>それでは次に、「(2) 第2期丸亀市未来を築く総合戦略アクションプランの進行管理について」事務局より説明をお願いします。</p>
大川	(資料に基づき説明)
原会長	<p>アクションプランのK P Iにおいて、2024年度の目標値だけではなく、各年度の目標値も記載した方が分かりやすいと感じました。</p> <p>また、K P Iの一部ではすでに目標値を達成しているもの、例えば特定不妊治療補助件数が当てはまりますが、これらの取り扱いについて考え方はありますか。</p>
大川	<p>各年度の目標値につきましては、次回会議に向けての検討課題とさせていただきます。</p> <p>また、目標値を上回ったK P Iの例として挙げられました特定不妊治療補助件数につきましては、年度によって件数が大きく変動すると担当課から伺っております。令和3年度も目標値を上回るようであれば、数値を上方修正するなど検討してまいりたいと思えます。</p>
原会長	地域子ども・子育て支援事業実施箇所数が目標値にかなり近づいています。目標値に近づいているK P Iの取り扱いについてはいかがでしょうか。
大川	目標値に近づいているK P Iにつきましては、その目標値を超えた時点で上方修正するなど検討してまいります。

佐久間委員	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止・縮小となり、適正に評価ができない状況が生まれていると思います。2021年度も収束が見込めない状況ですが、計画期間中に計画を見直すことはあるのでしょうか。</p>
窪田課長	<p>佐久間委員のご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症が計画に及ぼす影響は小さくなく、事業を中止・縮小せざるを得ない事態が生じているのが現状です。ただ、コロナ禍という理由で簡単に中止・縮小するのではなく、現状を踏まえた事業に取り組んでいかなければならないと考えております。</p> <p>また、今後の状況が読めないことから、直ちに計画を見直すことにはなりません、状況によっては計画の見直しにまで及ぶ可能性も否定できないと考えています。</p>
原会長	<p>コロナ禍を理由に当初の計画どおりに事業を進めることはできないとしても、工夫して実施できる事業もあると思います。</p> <p>例えば、「具体的取組：(2) 大学、高校など教育機関との連携推進」のKPI、学生ボランティア参加人数が激減しておりますが、私の所属する香川大学大学院地域マネジメント研究科では、本州四国連絡高速道路との連携事業について、当初の計画とは違ったものにはなりましたが、オンラインを活用するなど工夫して実施しました。KPIを評価する際は、定量的な数値目標だけでなく、工夫して実施した定性的な部分も評価すれば良いと私は思います。</p>
佐藤副会長	<p>「具体的な取組(3)待機児童対策」の評価が「C」となっていることについて、2020年度は保育士が確保されているという認識でよろしいでしょうか。</p> <p>また、待機児童数が2020年4月1日現在で0人となっていることについて、保育施設が増えたことや、少子化により保育所に通所する方が減ったことが要因であると考えられますが、2021年度以降も保育士や保育施設などが確保されており、待機児童数0人の状態が続いていくという認識でよろしいでしょうか。</p>
大川	<p>総合戦略の最終年度である2024年度まで保育士が確保できるかは、未来のことですので分かりません。ただ、保育士を今後も確保し続けるために、アクションプランの状況・結果に記載している就職準備金や就学資金の事業に取り組むこととしております。</p> <p>また、2020年度に待機児童数0人となっていることにつきましては、保育施設の定員拡充や保育園の2園増設、保育士の増加が要因と担当課から聞いております。</p>
窪田課長	<p>内容の補足をさせていただきます。2020年度の待機児童数が0人となった要因につきましては、新たに私立保育園が2園開園するなど、受入体制が充実し、保育需要に応えることができたという面もございます。</p> <p>また、保育士の確保について、現状で会計年度任用職員の保育士も多いほか、施設の定員を受け入れるだけの保育士を確保できていない面もあります。こうした現状に</p>

	<p>鑑みて、子どもの数は減少している一方で保育需要は低下していない状況でもあることから、保育士確保対策については、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。</p>
岩崎委員	<p>「具体的な取組：(4) 地域コミュニティの進化」のK P Iが、コミュニティセンター利用者数となっていますが、指標が形骸化しているのではないかと考えています。コミュニティセンターを地域の戦略拠点と位置付け、各コミュニティが地域活性化に向けてアクションを起こしている現状をK P Iに加味する必要があると思います。指標について、私も丸亀市コミュニティ協議会連合会の事務局と協議を進めていきますが、総合戦略においても、ご検討いただければと思います。</p>
窪田課長	<p>ご意見を担当課にお伝えし、検討してまいりたいと思います。</p>
高木委員	<p>「具体的な取組：(3) 切れ目のない子育て支援体制の確立」のK P I、まる育サポート相談対応件数について、目標値が400件となっていますが、令和3年度から体制が変わったことにより、目標値を上回ることが想定され、数値の変更について担当課と調整する必要があると思います。</p> <p>また、「具体的な取組：(4) 市民や市民活動団体などのまちづくりへの参画推進」のK P I、市民交流活動センター（マルタス）利用者数について、目標値が70万人となっていますが、利用者の内訳を示すことはできないでしょうか。マルタスは市民交流と市民活動の2つの目的を持っているので、利用者の傾向が分かると良いと思います。</p>
大川	<p>相談対応件数につきましては、目標値を超えた時点で担当課と調整してまいりたいと思います。</p> <p>マルタスの利用者数につきましては、利用目的ごとに人数を集計可能かどうかも含めて、担当課と検討させていただきます。</p>
中村委員	<p>「具体的な取組：(6) 小中学校における学習者用コンピュータの整備」について、現状を教えてください。</p>
大川	<p>1人1台端末の整備が令和2年度に前倒しされたため、市内全ての公立小中学校で整備が完了いたしました。現状、朝の学習ドリルを中心にタブレットを使用しておりますが、今後は、紙の教科書の補助的な役割としてデジタル教科書を使用するなど、活用に向けた検討を進めていくと担当課から聞いております。</p>
伊藤委員	<p>「具体的な取組：(4) スポーツによる健康増進」について、新型コロナウイルス感染症の影響で事業が実施できず、運動機会が減ったことによる健康被害を憂慮すべき状況かと思えます。</p>

大川	<p>一方で「具体的な取組：(1) フレイル予防」のKPI、元気いっぱい長生き体操参加者数については、生涯スポーツの参加者数に比べ、減少幅が少ない状況にありますので、KPIを検証する際は、高齢者や子どもなど年代別に分類していく必要があると思います。</p> <p>また、令和3年3月に発表された「丸亀市健康増進計画の評価に係るアンケート調査」では、日頃から日常生活の中で運動・スポーツをしている人の割合を示す運動実施率が伸び悩んでいると見受けられました。「具体的な取組：(4) スポーツによる健康増進」のKPIについて、生涯スポーツ参加者数で評価するのが適切か、現状を踏まえ検討していただきたいと思います。</p> <p>ご意見を担当課にお伝えし、対応について検討してまいりたいと思います。</p>
東原委員	<p>最近ではSDGsや脱炭素が話題に上がることが多くなってきました。SDGsについては、総合戦略の基本施策に結びつけて示されていますが、脱炭素に関する施策が総合戦略に示されておりません。「基本目標3：魅力を高める」に示すことで、社会情勢を踏まえた施策を実施していることが見える化され、非常に効果的ではないかと思えます。</p>
窪田課長	<p>丸亀市では、令和3年3月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、カーボンニュートラルに向けた今後の取組について検討しているところです。ご提言の「基本目標3：魅力を高める」に施策を示すことにつきましては、今後の実施する取組が基本目標の達成に資するものであれば、検討したいと思えます。</p>
原会長	<p>まちの魅力を高める施策の一環で、ワーケーションに取り組んでいる自治体もあると思いますが、丸亀市の現状を教えてください。</p>
山地公室長	<p>香川県において、民間企業や自治体によって構成されたワーケーション協議会が設立され、丸亀市も参画しています。研究段階ではありますが、推進していく施策の一つとして位置付けています。</p>
原会長	<p>インターネット環境の整備がワーケーションを推進する上で必須であると思いますが、島のブロードバンド環境の現状を教えてください。</p>
大川	<p>一部の島を除き超高速ブロードバンドに対応しています。</p>
原会長	<p>サテライトオフィスで有名な徳島県神山町を参考に、丸亀市の離島でもビーチや海の見える場所で仕事ができるようWi-Fi環境を整備するなど、検討していただければと思います。</p>

相原委員	<p>総合戦略は、人口ビジョンに基づき策定されていますが、アクションプランを見ただけでは、出生数や転出入の増減などの部分的な指標しか見えてこないのので、人口ビジョンで掲げた目標人口に向けてどう推移しているか分かる表などをお示しいただければ分かりやすいと思います。</p>
窪田課長	<p>人口の推移をお示しする方法について、事務局で検討させていただきます。</p>
原会長	<p>全体の傾向を把握するためにも、人口推移の表などを資料中に示していただく方が分かりやすいと思います。</p> <p>また、アクションプランの中に情報発信に関する取組がいくつか見受けられましたが、最近ではホームページではなく、Youtube やSNSによる情報発信が主流となっており、グーグルで検索するのは年配の方であると、私の所属する香川大学大学院地域マネジメント研究科で言われています。丸亀市においても、これらの新しい情報発信の手法について検討していただければと思います。</p>
窪田課長	<p>情報発信の手法については、届けたい人に的確に情報を届けるという視点を常に持ち検討しております。そこで、令和2年度は、市公式 Youtube チャンネルにて16本の動画を制作・配信しました。内容としては、職員採用試験や新庁舎・マルタスの案内動画のほか、中讃定住自立圏の2市3町の観光名所などを Youtuber が紹介する動画となっています。</p> <p>一方で、市民活動団体の方からは、デジタル化が進む中でも多様な年代が情報を入力する上で、紙での情報発信も重要であるというご意見をいただいております。</p> <p>今後も多様な年代の方に的確に情報を届けられるよう、様々な広報媒体を活用し、情報発信してまいりたいと考えています。</p>
原会長	<p>他にご意見もないようですので、最後に議事の「(3) その他」について事務局より何かありますか。</p> <p>(特になし)</p>
原会長	<p>他に委員より何かありましたらお願いします。</p> <p>(特になし)</p>
原会長	<p>特にないようですので、以上をもちまして、本日の会議を終了します。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>